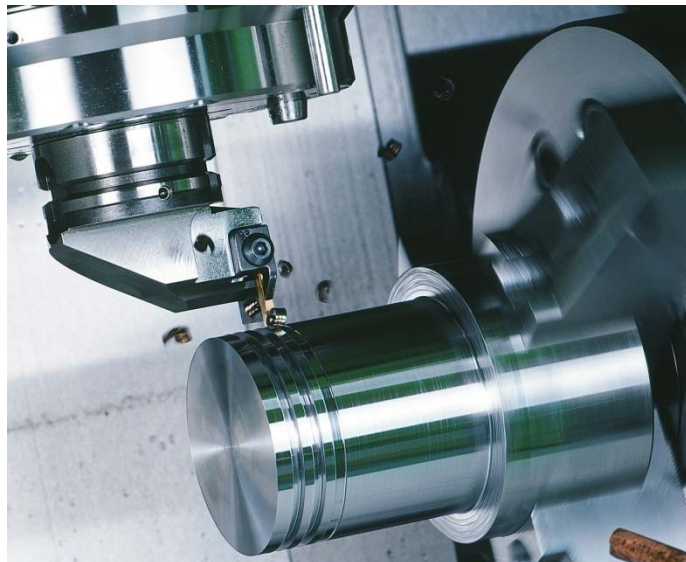


# 三菱マテリアル株式会社 I R決算説明会資料



超硬工具

2015年5月14日

取締役社長 竹内 章

 MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

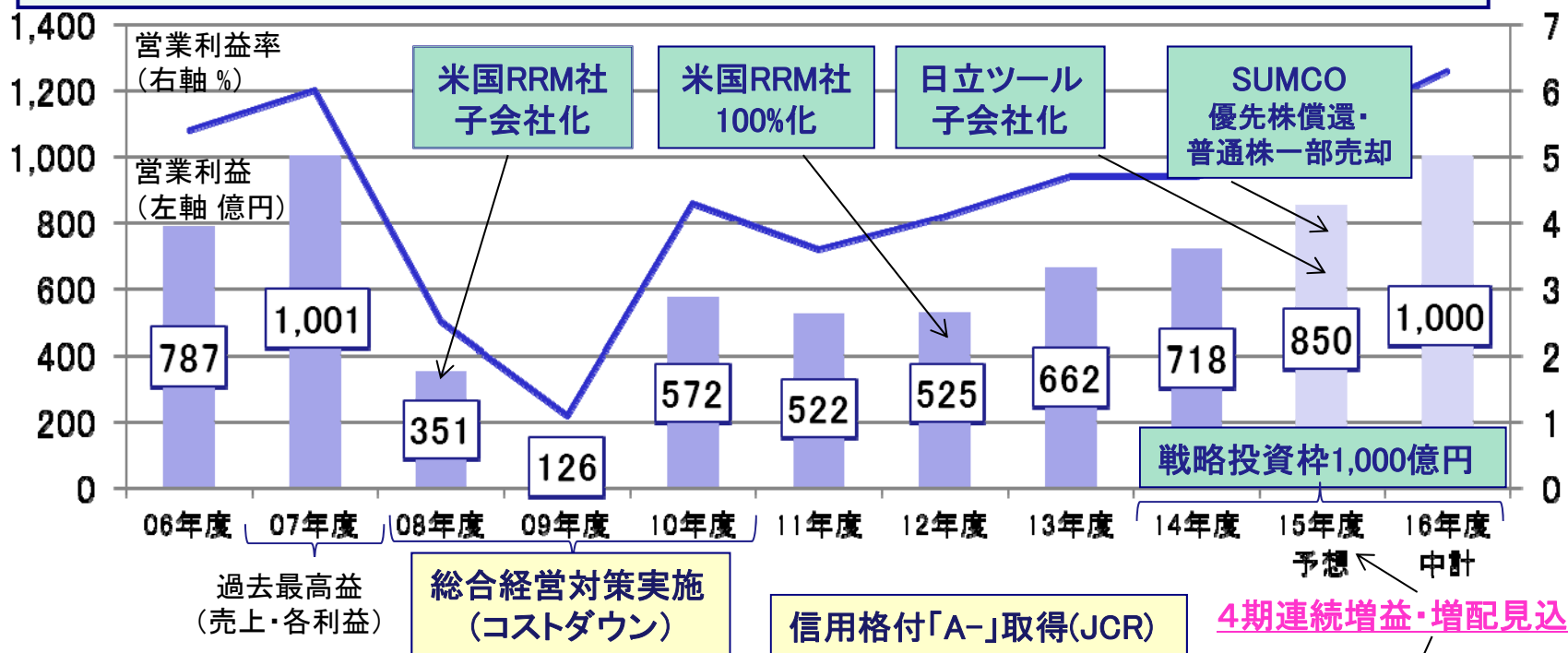
# 目次

---

1. 社長就任にあたって (P3-6)
2. 中期経営計画の推進状況 (P7-11)
3. 個別事業の取り組み (P12-15)
4. 総括 (P16)

# 1. 社長就任にあたって（経営の軌跡）

08-10年度：リーマンショック後、総合経営対策実施による体質強化  
 11-13年度：成長戦略と財務体質改善の両立  
 14-16年度：持続的成長を目指し、成長基盤を強化



ROA(経常)	6.3%	7.5%	2.2%	△0.5%	3.1%	2.4%	4.2%	4.3%	4.4%	4.8%	6%
ネットDE(倍)	1.5	1.3	1.7	2.1	2.0	1.8	1.6	1.3	1.0	0.9	1倍以下
一株配当(円)	6.0	8.0	4.0	0	2.0	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	未定

# 1. 社長就任にあたって（長期経営方針及び中期経営計画）

## 長期経営方針 概要（2020年代初頭に向けての方針）

### ビジョン

私たちはユニークな技術により、地球に新たなマテリアルを創造し、  
循環型社会に貢献するNo.1企業集団を目指します。

#### 事業規模イメージ

売上高2兆円以上、純利益1,000億円以上

## 中期経営計画 概要（2014 - 2016）

Materials Premium 2016 ～No.1企業集団への挑戦～

### 成長戦略

#### ●成長基盤の強化

#### ●グローバル競争力の強化

#### ●循環型ビジネスモデルの追求

- 営業利益
- 経常利益
- ROA（総資産経常利益率）
- ネットDEレシオ

2013年度

662億円

769億円

4.3%

1.3倍

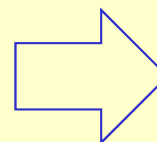
2016年度

1,000億円

1,100億円

6%

1.0倍以下



# 1. 社長就任にあたって（基本方針）

---

## 基本方針

矢尾前社長が5年間にわたり経営基盤の強化と成長戦略の推進、そして安全・CSRの徹底などに取り組んできた施策を継承し、さらに発展・強化させていくこと

## 最重要課題

中期経営計画の確実な達成

# 1. 社長就任にあたって（最重要課題）

## 中期経営計画の確実な達成

中期経営計画 Materials Premium 2016 ～No.1企業集団への挑戦～

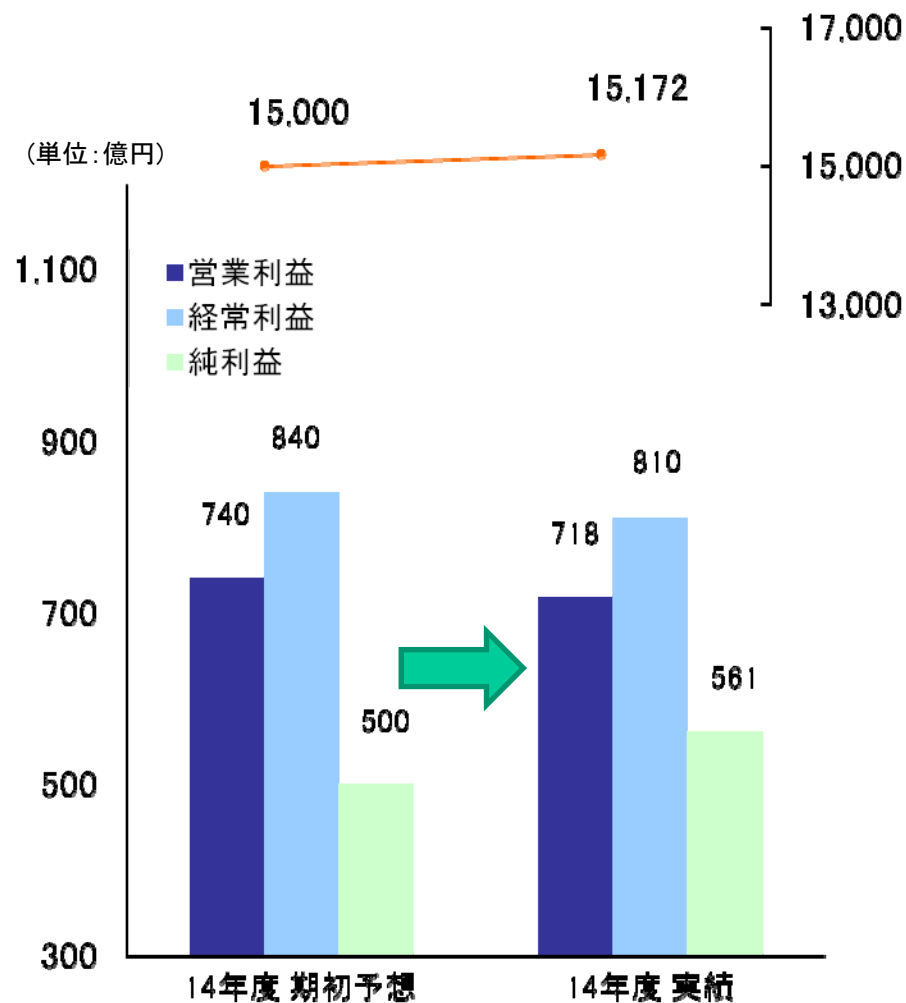
**成長戦略**

「成長基盤の強化」  
「グローバル競争力の強化」  
「循環型ビジネスモデルの追求」

- ・ より一層スピーディ、かつ確実に成長戦略を推進
- ・ 中計進捗のP D C A管理による適切な施策実行
- ・ 組織風土の改革と人材の活性化

## 2. 中期経営計画の推進状況（1年目の振り返り）

### 14年度 期初業績予想比



#### ◆主な前提条件の変化

	期初予想	14年度実績
銅価格	310 ¢	297 ¢
USD	102円	110円
セメント内需	48百万t	45.5百万t
鉱山配当	126億円	119億円
SUMCO持分	22億円	42億円

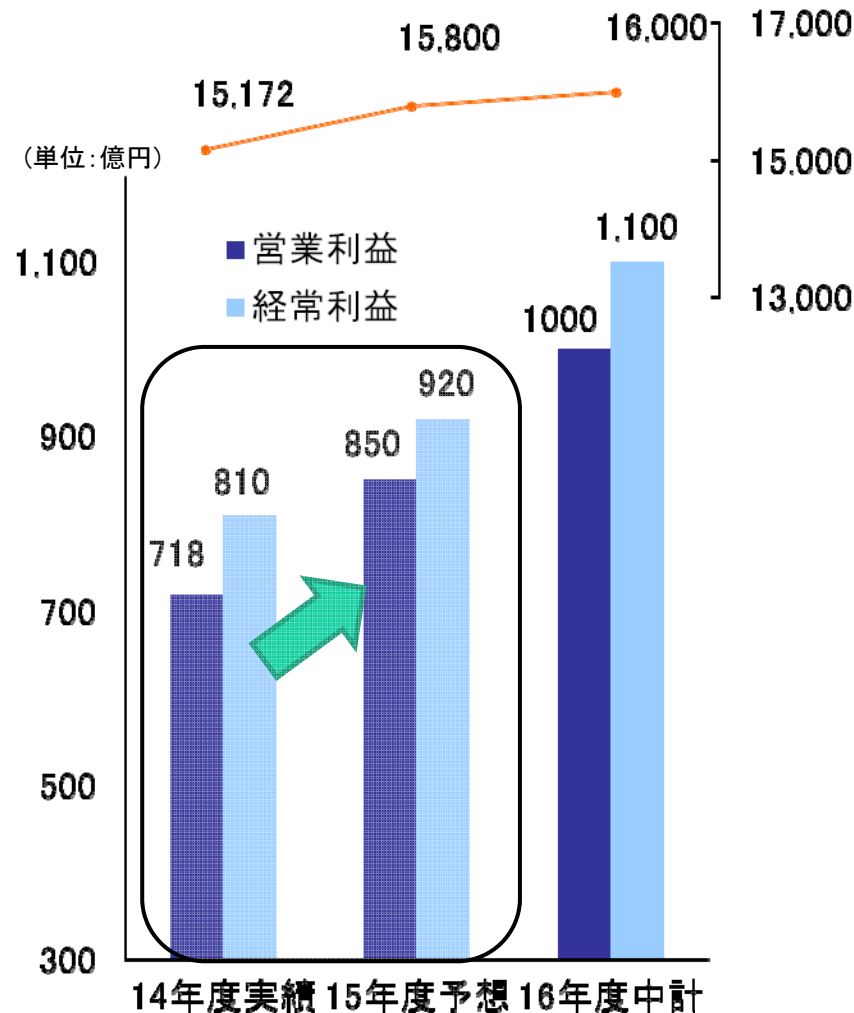
#### ◆経常利益

期初予想 840 → 実績 810億円

日本、米国でのセメント・生コン販売数量の未達を主因に、△29億円の未達  
(セメント△72,金属△40,加工+23,電材+25)

## 2. 中期経営計画の推進状況（2年目の展望）

### 15年度 業績予想



#### ◆ 主な前提条件の変化

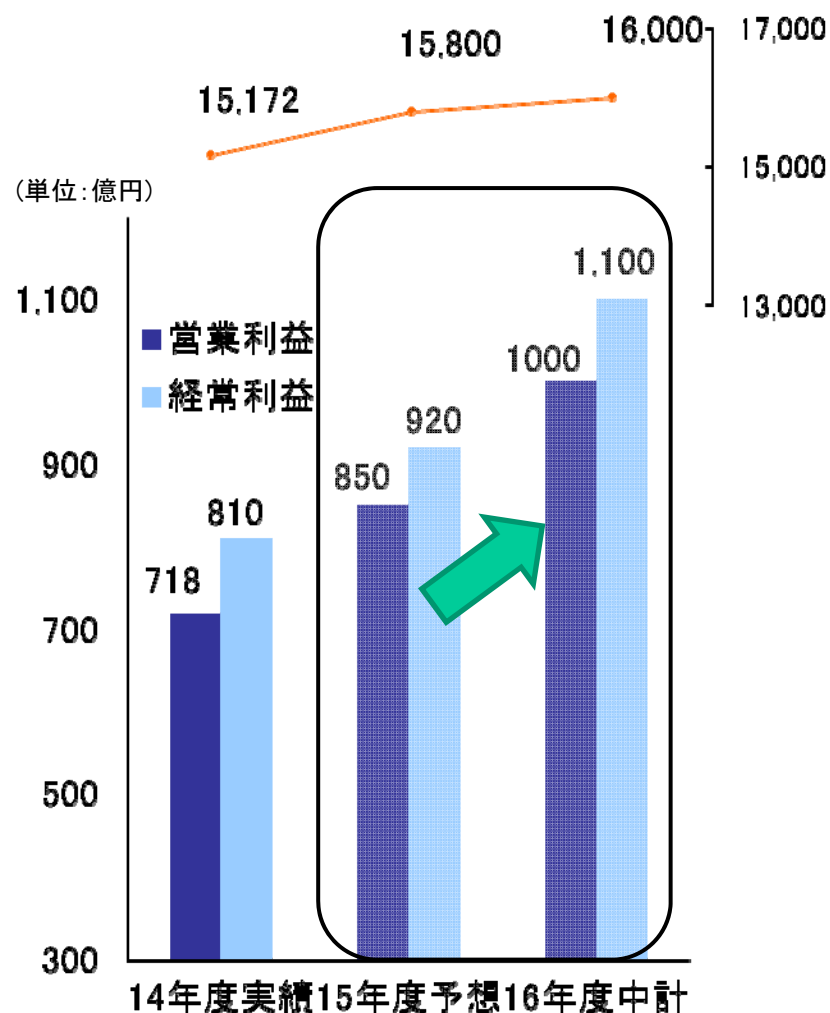
	14年度実績	15年度予想
銅価格	297 ¢	270 ¢
USD	110円	118円
セメント内需	45.5百万t	46百万t
鉱山配当	119億円	105億円
SUMCO持分	42億円	30億円

#### ◆ 経常利益 14 → 15年度 +110億円増益

- ・セメント：+66億円（北米事業の伸長等）
- ・金属： +109億円（TCRC改善、償却費減等）
- ・加工： +35億円（増販、日立ツール連結等）
- ・電材： 0億円（四日市稼働増等）
- ・アルミ： △25億円（原料高等）
- ・その他： △73億円（休廃止鉱山維持費増等）

## 2. 中期経営計画の推進状況（3年目の展望）

### 16年度目標に向けた戦略



#### ◆ 主な前提条件の変化

	15年度予想	16年度中計
銅価格	270 ¢	300 ¢
USD	118円	100円

#### ◆ 経常利益 15 → 16年度 +180億円増益

- セメント： ・ 産廃損益拡大  
 ・ 北米セメント事業強化
- 金 属： ・ 買鉱条件改善  
 ・ 金銀滓処理拡大
- 加 工： ・ 超硬製品拡販  
 ・ 日立ツール社買収効果
- 電 材： ・ 機能材料・デバイス製品拡販  
 ・ SUMCO自律的成長
- ア ル ミ： ・ 熱交材事業拡大  
 ・ ボトル缶海外展開

## 2. 中期経営計画の推進状況（全社成長戦略）

### 成長基盤の強化

- 安全管理体制の強化及び、安定操業の確保
- **持続的成長を実現するための戦略投資（M&Aなど）の実施**
- 財務体質改善の継続（選択と集中による収益性向上）

### 戦略投資（1,000億円）、主要投資案件の実施状況

案 件	進捗状況
日立ツール社株式取得	2015年4月 三菱日立ツール社発足
電子デバイス ラオス新工場	2015年2月 竣工
アルミ熱交材 インド新工場	2015年下期 操業開始予定
鉱山投資 サフラナル(ペルー)	2014年 Pre F/S開始

## 2. 中期経営計画の推進状況（全社成長戦略）

### 財務体質改善の進展

15年1月に信用格付(JCR)が「BBB+」から「A-」に格上げ

(金額単位:億円)		2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	2017年3月期 計画
BS	有利子負債	6,308	5,800	6,500
	ネットD/Eレシオ	1.0	0.9	1.0倍以下
CF	営業CF	1,080	1,200	—
	投資CF	-423	-850	—
	フリーCF	657	350	—
PL	営業利益	718	850	1,000
	経常利益	810	920	1,100
	純利益	561	650	—

### 今後の財務戦略の方向性

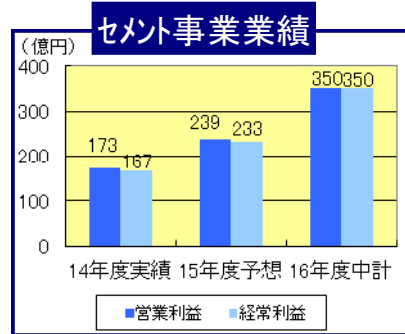


成長投資の加速

財務体質の強化

業績に応じた安定配当

### 3. 個別事業の取り組み（セメント事業）



ロングビーチ・ターミナル



RRM社 生コン工場

#### 国内

##### ◆国内需要に対する柔軟な対応

→ 需要増減に対しては輸出による柔軟な対応

##### ◆産廃物処理の高付加価値化推進

→ 処理困難物の受入拡大による収益向上

##### ◆売価適正化

→ 取組継続による適正化

#### 北米

##### ◆セメント供給体制の拡充

→ 需給逼迫への適切な対応

##### ◆生コン事業のさらなる拡大

→ 工場新設・買収、原料となる骨材確保

#### 新興国

##### ◆新たな事業展開を検討

→ 候補地域、進出形態等の検討継続

### 3. 個別事業の取り組み（金属事業）

#### 鉱山

##### ◆ 新規鉱山開発着手

➡ サフラナル(ペルー)はPre F/S中

#### 製錬

##### ◆ 買鉱条件の改善

➡ 円安も加わり、製錬マージン改善継続

##### ◆ リサイクル事業の拡大

➡ 金銀滓処理量の世界トップ視野  
銅スラグの国内販売比率アップ

#### 銅加工

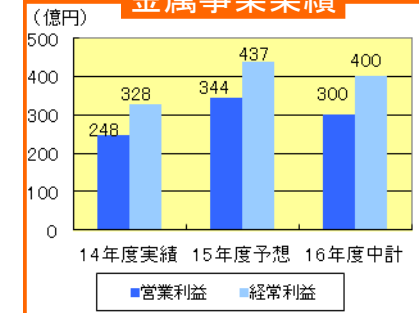
##### ◆ 新興国ボリュームゾーン攻略

➡ 新合金「MNEX<sup>®</sup>」を武器に拡販推進

##### ◆ 鉛レス黄銅棒「エコブラス<sup>®</sup>」拡販

➡ 高強度、耐摩耗性を生かし、自動車部品市場で拡販

#### 金属事業業績

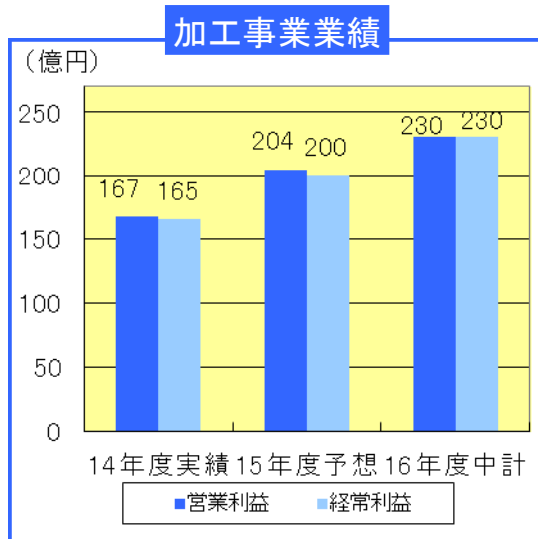


金銀滓(E-Scrap)



自動車向け端子材  
(銅条)

### 3. 個別事業の取り組み（加工事業）



#### 超硬

##### ◆海外拠点の拡充

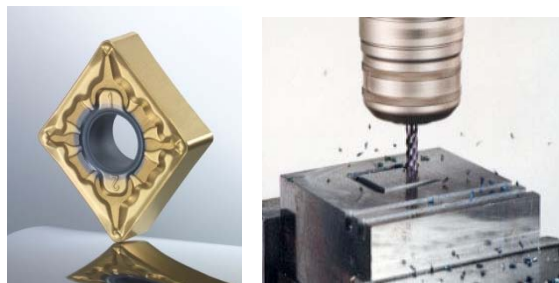
➡ 販売・製造拠点、テクニカルセンター

##### ◆産業別チームによる営業力強化

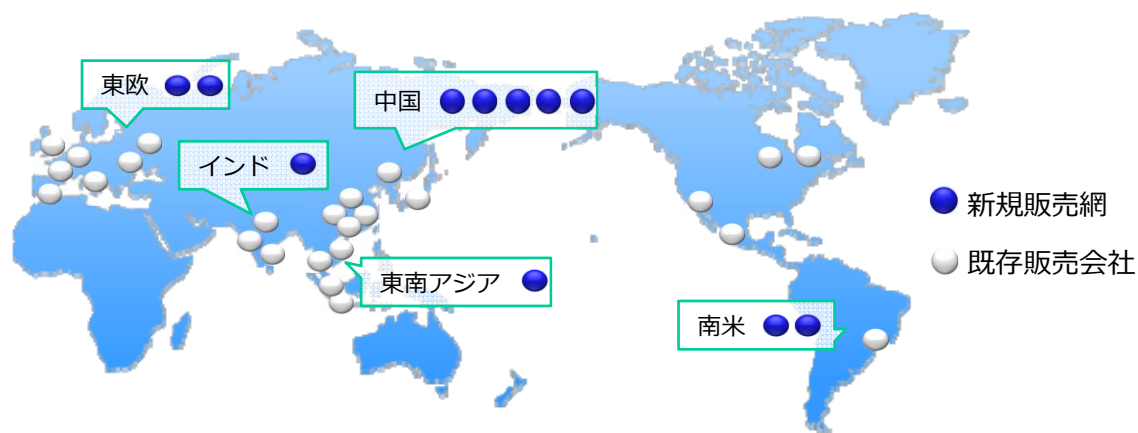
➡ 自動車、航空機、医療を重点産業とし、個別攻略による成長ドライブ

##### ◆ソリューション提供力の向上

➡ テクニカル拠点(現5拠点)の連携強化

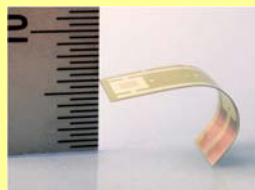


#### 超硬製品販売拠点 拡充計画（14-16年度）



### 3. 個別事業の取り組み（電子材料・アルミ事業）

#### 電子材料事業



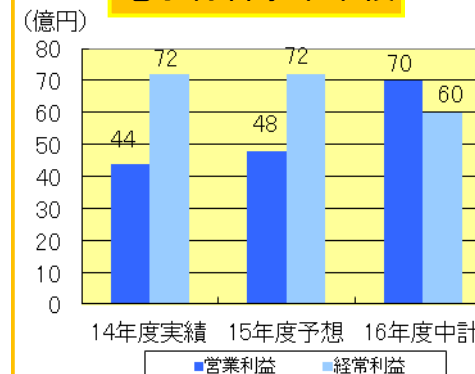
#### ◆ユニークな大型新製品の開発

- ➔ 屈曲性を備えた世界最薄のフレキシブルサーミスタセンサ(デバイス)
- ➔ 親水撥油特性を有する世界初の「フッ素系化合物」(三菱マテリアル電子化成株)

#### ◆シリコン事業(SUMCO社)

- ➔ 優先株式の全額償還、当社保有株式の一部売却(当面、持分法適用関連会社を維持)

電子材料事業業績



#### アルミ事業

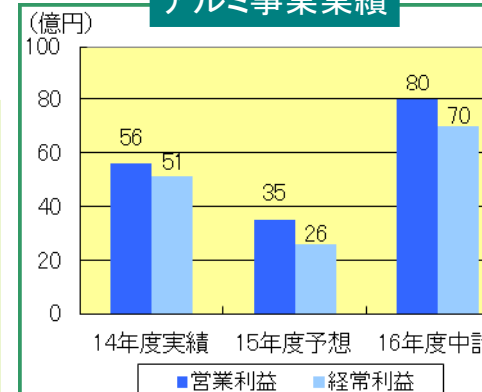


#### ◆海外事業強化

- ➔ 熱交材の海外拠点拡充  
インド新社(押出多穴管製造)は15年度下期に操業予定
- ➔ ボトル缶の海外展開強化



アルミ事業業績



## 4.総括

### ◆中期経営計画の確実な達成

財務体質の改善を継続するとともに、持続的成長を実現するための戦略投資を果敢に実施し、成長基盤を強化

## *Materials Premium 2016* ～NO.1企業集団への挑戦～

### ◆お問合せ先◆

三菱マテリアル株式会社 広報・IR部

〒100-8117 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館

TEL : 03-5252-5206 FAX : 03-5252-5272 URL : <http://www.mmc.co.jp/>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。